

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年10月29日

計画の名称	安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（2期）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	広島市											
計画の目標	広島都市圏における都市基盤となる骨格道路等の整備を行い、都心及び拠点地区相互を連絡し、都市内交通の円滑化を図るとともに、避難路等を確保し都市の防災機能の向上を図る。 また、歩行や自転車走行の交通環境の向上を図り、安全な通学路等を確保するなど、防災・安全対策に資することにより安全・安心なまちづくりを推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,302	A	8,302	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H32末	H34末
1	市内の広域避難路に指定されている道路の整備率を高める。 広域避難路の整備率 (広域避難路の整備率) = (広域避難路に指定されている道路の供用済み延長) / (広域避難路に指定されている道路の計画延長)	81%	84%	85%
2	広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「歩行や自転車走行のしやすさなど交通環境の満足度」を向上させる。 実態調査の「歩行や自転車走行のしやすさなど」交通の環境満足度調査における全標本数に占める「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数の割合 (交通環境の満足度) = (「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた票数) / (実態調査の当該項目の全標本数)	40%	40%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
「交通環境の満足度」の中間目標値及び最終目標値は、「現況水準より向上」に設定する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	駅前線	道路改良 L=1.0km	広島市						2,067	-		
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	花都川線	道路改良 L=0.3km	広島市							634	-	
	A01-003	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	山の手線	道路改良 L=1.1km	広島市							4,086	-	
	A01-004	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	青崎畝線	道路改良 L=1.5km	広島市							308	-	
												小計						7,095		
	住環境整備事業	A16-005	住宅	一般	広島市	直接	広島市	-	-	広島西部丘陵都市(石内地区)住宅市街地基盤整備事業	道路改良	広島市						1,207	-	
											小計						1,207			
											合計						8,302			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	209	758	292	266	214
計画別流用増 減額 (b)	0	491	0	0	0
交付額 (c=a+b)	209	267	292	266	214
前年度からの繰越額 (d)	0	196	252	237	248
支払済額 (e)	13	211	307	255	281
翌年度繰越額 (f)	196	252	237	248	181
うち未契約繰越額(g)	98	109	0	130	145
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	46.88	23.54	0	25.84	31.38
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地交渉において、価格問題等から用地取得が遅延したため。	用地交渉において、価格問題等から用地取得が遅延したため。		新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、用地交渉が困難となり、契約に至っていないため。	用地交渉において、価格問題等から用地取得が遅延したため。

# 事前評価チェックシート

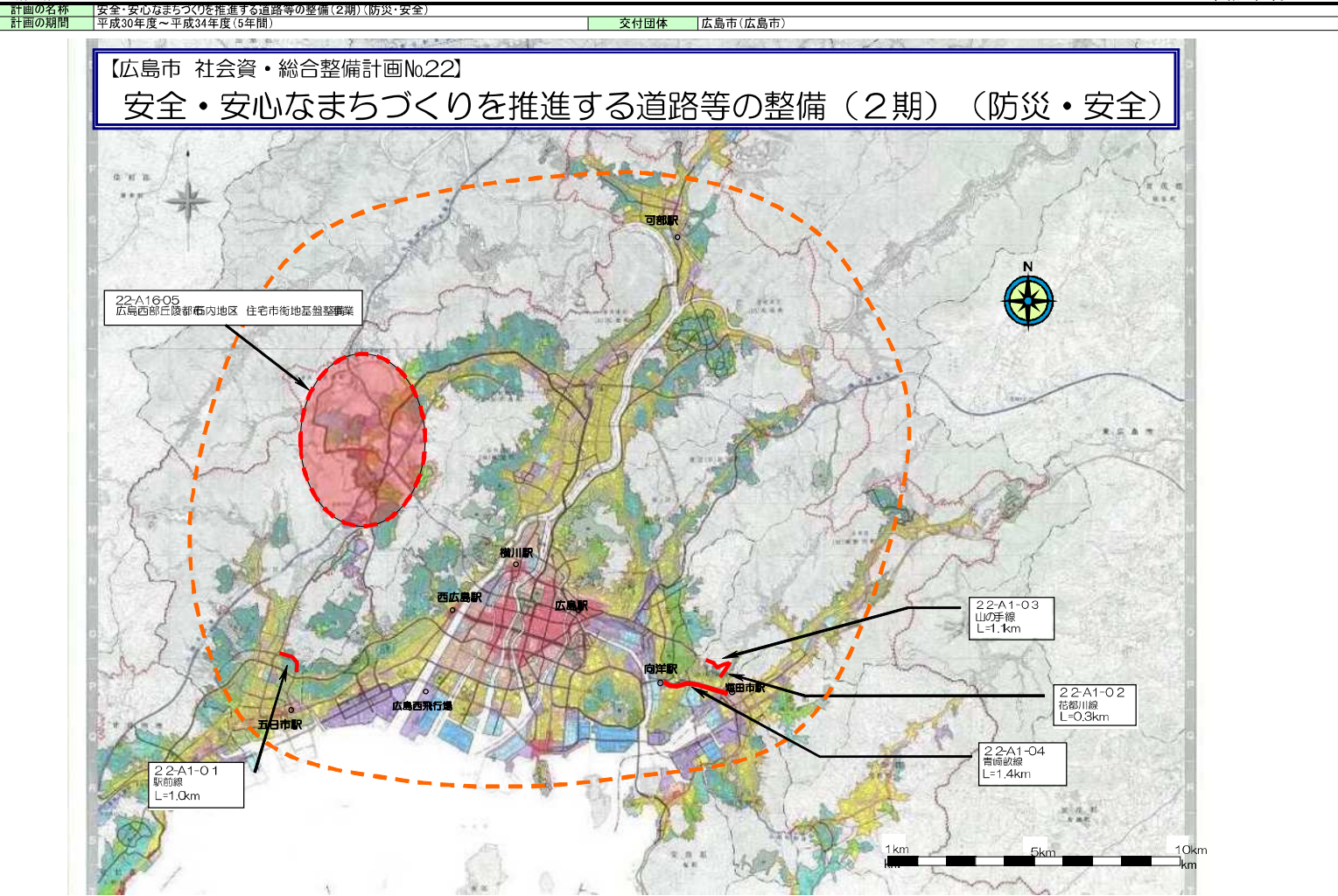
計画の名称： 安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（２期）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

令和2年3月25日





(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

令和2年3月25日

計画の名称	安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備(2期)(防災・安全)
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)
交付団体	広島市(広島市)

22-A16-05 広島西部丘陵都市(石内地区) 住宅市街地基礎整備事業

